

てんとう虫君通信

2022

発行：パルシステム山梨 課題推進チーム 食・農

第1号



課題推進チーム「食・農」では、組合員と役職員で「食べものと生命のつながり」について啓発活動を行っていきます。食べものそのものも「生命」、田んぼや畑にもたくさんの「生命」が関わっています。パルシステムが進めている環境保全や資源循環型農業を視点を置き、わかりやすい情報発信をしていきますのでどうぞ宜しくお願いします。



「この食べ物はどのような過程をたどって食卓にのぼったのかしら?」「みんな、私の命になってくれて有難う」と考えながら食事をするのは日々の暮らしの中でなかなか無い事だと思います。私達の「食」を支えてくれている「農」の事、そして私達の命となっている沢山の「生きもの」の事。そんな繋がりを皆さんと一緒に学んで、自然の恵みに対する感謝の気持ちにつながっていかれたらと思っています。
組合員メンバー 山梨市在住 T.Y

趣味はいろいろですが、料理をしているときが一番楽しいかもしれません。病気がちで、体のもとになる食べ物に少しずつ気を使うようになりました。環境問題や公害にも興味があり、大学で学んでいます。好きな魚は秋刀魚で、秋刀魚のはらわたが食べられないほどに海が汚染されたら嫌だと思っています。小さい頃の夢が農家さんだったので、お話を聞くのが楽しみです。
よろしくお祈りします。
組合員メンバー 大月市在住 C.O.



昨年、田んぼトリ(コウノトリ トキ カモ)との密接な関わりについての学習会に参加させていただき、生きものと食の現場について興味を持ちました。安全な食は環境から。生きものに優しい環境は、人にも優しく、安全な食のゆりかごにもなります。自分の家の食卓だけが、安心・安全であれば良いのではなく、人間以外の生きものにとっても暮らしやすい環境と安心・安全な食の繋がりをお伝えしたいと食・農チームに参加させていただきました。
組合員メンバー 韮崎市在住 K.K



我が家では庭やプランターで少しずつですが色々な野菜を作っています。ミズにトカゲ、バッタ、ダンゴムシ、蝶の幼虫などなど、そこは生きもの宝庫でもあります。また、近くの田んぼでは水が入ったその日から毎晩カエルの大合唱。食べものを作っているところには必ず生きものがいます。そんな食べものと生きものつながりの大切さをわかりやすく伝えていけるよう頑張ります
理事メンバー 甲府市在住 K.M



田畑にいる様々な命、そこで育つ食べ物について、組合員、理事、職員と一緒に学んでいます。大学生の新鮮な視点、知識経験ともに豊富な方のアドバイス、興味はあるけど...な方の疑問などを交えての活動は新鮮です。稲や大豆を育てることも体験中。てんとう虫君通信・企画・交流などを通して、大切な命のつながりをどうわかりやすく伝えるか、アイデアを出しあい工夫していきます。
理事メンバー 富士河口湖町在住 M.Y



今年で課題推進食・農チーム 2 年目になります。以前パルシステムのお米の産地、新潟ささかみで無農薬の田んぼだけに蛍がたくさん光っていたことがとても印象に残っています。私たちは色々な生きものがある場所で育った食べ物を頂いています。そのつながりを学習し、わかりやすく伝えていけたらと思っています。
1 年間宜しくお願いします。
理事メンバー 富士河口湖町在住 N.N.



パルシステムの業務を通じて、たくさん産地を見る機会に恵まれてきました。畑や田んぼには、収穫の作物だけではなく、たくさんの命が息づいていることを実感しました。畑や田んぼは、ただの食糧基地ではなく、たくさんの命の繋がりが循環があるのだなあと思います。この一年さらに学んで伝えていけるように頑張ります。
職員メンバー A.N



少し前までは、この時期の夜にはカエルの合唱を子守歌に眠りについていましたが、自宅の周りの田んぼもすっかり住宅地が変わり、カエルの子守歌を聞くことができなくなってしまいました。今、私たちはスーパーに行けば虫食いのないきれいな野菜や果物を簡単に手に入れることができます。だからこそ自分たちが食べている「もの」がどんなところでどんなふうで作られているのかを知ることが大切だと思っています。
職員メンバー 甲斐市 N.S

課題推進チーム 食・農 メンバー

2022 年度、メンバーが変わり新たなチームとしてスタートしました!

